旄九	見二業高	等専門学校	開講年度	平成31年度(	2019年度)	授業科	目	システム工学特論 I
	.礎情報		,	,	/			
科目番号		0075			科目区分	亩門	/ 選	
授業形態			講義					
<del>区条/// // // // // // // // // // // // //</del>					単位の種別と単位 対象学年	位数 学修単位: 1 5		_
用設力。 開設期	後期			週時間数	後期:2			
<u>加政利</u> 教科書/	数末才	なし		及可的数	15.HJ.2			
234年/ 234年 234年		新徳 健						
到達目		<b>利加</b>						
		7.0*	ナの甘味についてい	n4n → 7   4 —	22 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /	± 1 1.4% 00	+ 7	
りりを支	援する技術	に関する学問		E解する。ビユーマ 	インインタフエースで 	スクと機奋、	める	いは情報機器を介した人と人との関
ルーフ	リック				T			
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1			ヒューマンインタフェースの主要 な目的と定義について説明できる 。		ヒューマンインタフェースの定義 を説明できる。		ヒューマンインタフェースの定義 を説明できない。	
評価項目2			人間特性である身体特性、生理特性、認知特性、感性について説明 できる。		人間特性4つのうち、少なくとも 2つについて説明できる。		人間特性4つのうち、少なくとも 2つについて説明できない。	
評価項目3			ヒューマンエラーの発生要因と防 止対策について説明できる。		ヒューマンエラーの定義を説明できる。		ヒューマンエラーの定義を説明できない。	
評価項目4			入出カインタフェースとインタラ クションスタイルについて説明で きる。		入出力インタフェースについて説 明できる。		入出カインタフェースについて説 明できない。	
評価項目5			ユーザビリティ、HIの原理とデザ イン原則、ガイドライン、デザイ ンプロセスと評価方法について説 明できる。		ユーザビリティ、HIの原理とデザイン原則、ガイドラインについて 説明できる。		ユーザビリティ、HIの原理とデザイン原則、ガイドラインについて 説明できない。	
学科の	到達目標	項目との関	 係					
<u></u> 教育方			***					
扱日刀	<del>カサー</del>							
		P =	ヽ <i></i>	ナナ学だけでかく	スの他の亡い分野に	問油のちる	学問	でちる 矛動か怒相力を持って陥む
概要		ヒューマ!	ンインタフェースは 要とされる。	工学だけでなく、	その他の広い分野に	関連のある	学問	である。柔軟な発想力を持って臨む
	 ≝め方・方法	ことが必!	ンインタフェースは 要とされる。 容をよく理解するた			関連のある	学問	である。柔軟な発想力を持って臨む
受業の追	Ěめ方・方法	ことが必要       講義の内容       疑問点が	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質	:めに、毎回プリン 語問すること。	ト等を配布する。		·学問	である。柔軟な発想力を持って臨む
受業の進 主意点		ことが必要       講義の内容       疑問点が	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質	:めに、毎回プリン 語問すること。			3学問	である。柔軟な発想力を持って臨む
受業の進 主意点		ことが必要       講義の内容       疑問点が	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質	:めに、毎回プリン 語問すること。	ト等を配布する。		学問	である。柔軟な発想力を持って臨む
受業の進 主意点		ことが必要による。	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質	:めに、毎回プリン 語問すること。	ト等を配布する。			
受業の進 注意点		ことが必!   講義の内!   疑問点が。   配布プリ!   週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、毎 授業内容	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 全自習が必要である。 〕 〕 し	<u> 週ごとの到</u> 述	達目標	
受業の進 注意点		ことが必       講義の内       疑問点が       配布プリ       週       1週	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質 とというである。 というでは、年 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 全自習が必要である。 〕 〕 <u>↓</u>	<u>周ごとの到達</u> ニューマン- できる	<b>達目標</b> インタ	。 フェースの原理と定義について説明
受業の進 注意点		ことが必 講義の内 疑問点が 配布プリ 週 1週 2週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、毎 授業内容 ヒューマンインタン 身体特性	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 全自習が必要である。 〕 し ・	<u>周</u> ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性にご	<u>達目標</u> インタ	! フェースの原理と定義について説明 説明できる
受業の進 注意点		ことが必       講義の内       疑問点が       配布プリ       週       1週       2週       3週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、年 授業内容 ヒューマンインタン 身体特性 生理特性	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 学自習が必要である。 〕 〕 し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	周ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性にこ 生理特性にこ	達目標 インタ ついて	【 プフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる
受業の進 注意点		ことが必該       講義の内       疑問点が       配布プリ       週       1週       2週       3週       4週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、毎 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 全自習が必要である。 <u>)</u> <u>し</u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u>	<u>周ごとの到近</u> ニューマン・ できる 身体特性にご 主理特性にご 忍知特性にご	達目標インタ ついて ついて	【 プフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる
受業の進 注意点	画	ことが必該       講義の内       疑問点が       配布プリ       週       1週       2週       3週       4週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、年 授業内容 ヒューマンインタン 身体特性 生理特性	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 全自習が必要である。 <u>)</u> <u>し</u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u>	周ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性にこ 生理特性にこ	達目標インタ ついて ついて	【 プフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる
受業の進 注意点	画	ことが必 講義の内 疑問点が 配布ブリ 週 1週 2週 3週 4週 5週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 ント等を参考に、毎 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性	めに、毎回プリン 間すること。 阿60分以上の自労	ト等を配布する。 <sup>2</sup> 自習が必要である。 <sup>1</sup> <u>1</u> <u>2</u> <u>5</u>	<u>周ごとの到近</u> ニューマン・ できる 身体特性にご 主理特性にご 認知特性にご 滅性について	達目標インタ ついて ついて こいて こいて	【 プフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる
受業の進 注意点	画	ことが必 講義の内 疑問点が 配布プリ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	要とされる。 容をよく理解するた あれば、その都度質 シト等を参考に、 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性 感性	めに、毎回プリン 間 すること。 1回 60分以上の自う フェースの概要	ト等を配布する。 全自習が必要である。	周ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性に 主理特性にこ 忍知特性にこ 感性について ニューマンニ	達目標インタ ついて ついて こいて こここ	は フェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる  できる
受業の追 注意点 受業計	画	ことが必 講義の内 疑問点が 配布プリ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質 ント等を参考に、 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー	めに、毎回プリン 間 すること。 1回 60分以上の自分 フェースの概要	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性にご き理特性にご 忍知特性にご 惑性について ニューマンニ 入力機器との	達目標インタ ついてて ついて こういて エライン	できる 記明できる 説明できる 説明できる 記明できる 記明できる とエラー解析について説明できる
受業の追 注意点 受業計	画	ことが必 講義の内 疑問点が 配布プリ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質ととうできる。 を表すに、 接業内容 とユーマンインタン 身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー 入力インタフェース	めに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自当 フェースの概要	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 ニューマン・ できる 身体特性にご 主理特性にご 忍知特性にご 感性について ニューマンこ 入力機器との 出力機器との	達目標インタ ついて ごいて ご リカイン ひついて ご リカイン ファイン ファイン ファイン	ジフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる できる できる ・とエラー解析について説明できる ・・タラクションについて説明できる
受業の追 主意点 受業計	画	ことが必 講義の内 疑問点が 別 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質 というできを参考に、年野業内容 とユーマンインタン 身体特性 生理特性 認知特性 感性 とユーマンエラー 入力インタフェース	めに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自党 フェースの概要 ス	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 こさる 身体特性に 主理特性に 忍知特性に 認性についる ニューマンニ 入力機器との 出力機器との 出力機器との	全量目標インター ついてて説明 フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・フロー・	プフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる できる とエラー解析について説明できる ・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・
受業の追 注意点 受業計	画	ことが必   講義の内   疑問点が対   疑問点が対   3週   1週   2週   3週   4週   5週   6週   7週   8週   9週   10週	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質と大等を参考に、年野業内容 とユーマンインタン身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー 入力インタフェース 出力インタフェース コース・ファース コース・ファース コース・ファース コース・ファース コース・ファース	めに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 ニューる 身体特性にご 主理特性にご 認知特性にご 感性につマンニ 入力機器との 出力機器との インタる	童目標を を ついて で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる ご明できる できる ・とエラー解析について説明できる ・タラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・クラクションについて説明できる・
受業の追 注意点 受業計	画 3rdQ	ことが必要には   には   には   には   には   には   には   には	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質シト等を参考に、生物を考に、生物を表し、生物を表し、生物を表し、生物を表し、生物を表し、生物を表し、生物を表し、またのでは、ま	は、毎回プリン 間間すること。 同60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ア ス ア	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 ニュラ マン・ ラ体特性に 注理特性に 忍知特性に 忍が ボスカ機器との 大力機器との 出力機器との 出力機器との インタる インタる インタフェー	達目標インター ついて ひついて エカイン フロック フロック アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	は フェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる できる とエラー解析について説明できる タラクションについて説明できる タラクションについて説明できる タラクションについて説明できる タラクションについて説明できる のスタイルとその特徴について説明
受業の追 注意点 受業計	画	ことが必要には   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことが必要に   ことができる   ことができる	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質シト等を参考に、毎 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー 出カインタフェース 出カインタフェース インタフェースのラ	は、毎回プリン ででは、毎回プリン ででは、毎回の分以上の自然 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、それでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ト等を配布する。 学自習が必要である。 し し し し こ こ に に に に に に に に に に に に に	周ごとの到近 こさる 身体特性にご き理特性にご 認知特性にご 認性につマンニ 入力機器器との イン参る インタフェー インタフェー	全国標インクいてでは、アイマンマンマンマンマンマンマンでは、アイマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマン	でフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる できる できる できる できる できる できる できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でスタイルとその特徴について説明できる
受業の追 注意点 受業計	画 3rdQ	ことが必要には、	要とされる。 容をよく理解するだ あれば、その都度質 かト等を参考に、 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー 入力インタフェース インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの	は、毎回プリン 間まること。 1回60分以上の自ち フェースの概要 ス ス ス マイル デザイン指針 デザイン手法 平価	ト等を配布する。 全自習が必要である。 し し と は に に に に に に に に に に に に に	過ごとの到近 こさる す体特性にご 要特性にご 認知特性にご 認知性につマンご 入力機器との よ力機器との インきる インタフェー インタフェー	全量目標インターのいてごうした。 では、アンターのでは	でフェースの原理と定義について説明できる。説明できる。説明できる。説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 ・とエラー解析について説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・グラクションについて説明できる。 ・デザインの指針について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。
	画 3rdQ	ことが必要には   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質 あれば、その都度質 とユーマンインタフ 身体特性 と理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー スカインタフェース 出カインタフェース インタフェースの インタフェースの インタフェースの グループインタラグ	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ ア エ ー ス の 概要 マ マ マ ア エ ー ス の で で イ ン ド ラ イ ン ト デ ビ イ ン チ イ ン チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ ー デ チ イ ン チ チ ー デ チ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	でフェースの原理と定義について説明 説明できる 説明できる 説明できる できる できる できる できる できる できる できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でクラクションについて説明できる でスタイルとその特徴について説明できる
受業の追 主意点 受業計	画 3rdQ	ことが必要には   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容	要とされる。 容をよく理解するだ あれば、その都度質 かト等を参考に、 授業内容 ヒューマンインタフ 身体特性 生理特性 認知特性 感性 ヒューマンエラー 入力インタフェース インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの インタフェースの	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ ア エ ー ス の 概要 マ マ マ ア エ ー ス の で で イ ン ド ラ イ ン ト デ ビ イ ン チ イ ン チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ イ ン チ チ ー デ チ イ ン チ チ ー デ チ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー デ ー	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 ニューる   さな特性にご   きな特性にご   はな性についる   これ機器との   これ機器 まとの   はいかとる   といる   インタフフェー   インタフフェー   インタフフェー	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	でフェースの原理と定義について説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 ・とエラー解析について説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・のスタイルとその特徴について説明できる。 ・デザインの指針について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。
受業の進主意会を受験を対しています。	画 3rdQ 4thQ	に 議議の内 議議の内 議議の内 調題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	要とされる。 容をよく理解するたちないできた。 ないでは、そのないでは	はめに、毎回プリン 語目すること。 語回60分以上の自然 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス マ サイン指針 デザイン手法 平価 フション 解説	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	でフェースの原理と定義について説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 ・とエラー解析について説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・のスタイルとその特徴について説明できる。 ・デザインの指針について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。
受業の進主意点を受業計で	画 3rdQ 4thQ	ことが必要にある。   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容   記述の内容	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質があれば、その都にで、そのでででででででででででででできます。 要をよく理解するたちれば、そのできませた。 要素内容 とユーマンインタフェースのででででででででででででででででででででででできます。 要素のできません。 とのできません。 要素のできません。 要素のできません。 を表している。 をましている。 を表している。 をましている。	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス フション 報説	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	でフェースの原理と定義について説明できる説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 ・とエラー解析について説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・クラクションについて説明できる。 ・のスタイルとその特徴について説明できる。 ・デザインの指針について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。 ・におかを自分の課題として把握す
受業の進生意業計	画 3rdQ 4thQ	に 議議の内 議議の内 議議の内 調題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	要とされる。 容をよく理解するたちれば、その都度質があれば、その物に、 その物に、 その物に、 そのからに、 を参考に、 生物 特性 を は いっぱい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい	はめに、毎回プリン 語目すること。 語回60分以上の自然 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス マ サイン指針 デザイン手法 平価 フション 解説	ト等を配布する。 学自習が必要である。	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	プフェースの原理と定義について説明できる。説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 ・とエラー解析について説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・タラクションについて説明できる。 ・のスタイルとその特徴について説明できる。 ・デザインの指針について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・デザイン手法について説明できる。 ・評価手法について説明できる。
受業の進生意業計	画 3rdQ 4thQ	ことが必要にある。   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容   記述の内容	要とされる。 容をよく理解するたちかれば、その都度質力とである。 を表して、	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス フション 報説	ト等を配布する。 学自習が必要である。 は は は に に に に に に に に に に に に に	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	できる。説明できる。説明できる。説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 とエラー解析について説明できる。 タラクションについて説明できる。 タラクションについて説明できる。 タラクションについて説明できる。 のスタイルとその特徴について説明できる。 アザインの指針について説明できる。 アザイン手法について説明できる。 アボイン手法について説明できる。 アボイン手法について説明できる。 かた部分を自分の課題として把握する。 した部分を自分の課題として把握する。 カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・
受主受主受主受法に対して対対の対対を対対では、対対の対対の対対の対対が対対の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対	画 3rdQ 4thQ	ことが必要にある。   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容   記述の内容	要とされて 容をよく理解するた 容をよく理解するた あれば、を参考に、 授業 内容 マンインタン 身体特性 生理特性 とユカイインタフフェース カカイイ クラフェースフェース ガカイイ クラフェースのの グルル 答案 内容 学習内容 試験	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス フション 報説	ト等を配布する。 学自習が必要である。 は は は は は に に に に に に に に に に に に に	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	(フェースの原理と定義について説明できる説明できる)できるできる。 とエラー解析について説明できるできる。 とエラー解析について説明できるでクラクションについて説明できるでクラクションについて説明できるでクラクションについて説明できるでクラクションについて説明できるで、アザインの指針について説明できるがデザイン手法について説明できるががイン手法について説明できるのにあるとモデル化について説明できるのにあからできるのにありていて説明できるのであるとモデル化について説明できるのにありた部分を自分の課題として把握するのにあるのにはいて説明できる。
受業の進生を受験を対しています。	画 3rdQ 4thQ	ことが必要にある。   記載の内容   記載の内容   記載の内容   記述の内容   記述の内容	要とされる。 容をよく理解するたちかれば、その都度質力とである。 を表して、	はめに、毎回プリン 間間すること。 1回60分以上の自門 フェースの概要 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス フション 報説	ト等を配布する。 学自習が必要である。 は は は に に に に に に に に に に に に に	周ごとの到近 こで身体特性にご 身体特性にご ま理特性にご 表性につマ器器との カカカ機器ラーフフェー インシタフフェー インションプロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	達目標インタ ついてご説明 ロカインンコン ースの ースの エファの	できる。説明できる。説明できる。説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 できる。 とエラー解析について説明できる。 タラクションについて説明できる。 タラクションについて説明できる。 タラクションについて説明できる。 のスタイルとその特徴について説明できる。 アザインの指針について説明できる。 アザイン手法について説明できる。 アボイン手法について説明できる。 アボイン手法について説明できる。 かた部分を自分の課題として把握する。 した部分を自分の課題として把握する。 カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・カーマン・